

○洗足こども短期大学 石濱加奈子教授による講義の様子と生徒の感想



講義名：「子どもにとって遊びとは？～遊びがもたらすもの～」

〔生徒の感想〕1年 E.Mさん

私は最初の講義で洗足こども短期大学の石濱加奈子先生から、体育のような実技をもとに子ども達の年齢に合わせた遊び方を考えるという内容のお話を伺いました。

子ども達は疲れても少し休めばすぐ走り回れるほど元気なので、大人もそれに合わせて遊ばなければなりません。そのため、対等な立場になって考えてあげることが幼稚園・保育園の先生の役目であり、そのような立場に立てる人が必要とされていることが分かりました。

子ども達は遊びの中から生活に必要なことを学び、獲得していきます。先生が手助けすることでさらなる発育に繋がり、当たり前のことを自然と身につけられるそうです。私は、子ども達が様々な力を自然と獲得して成長していく能力を持っていると知り、とても驚きました。

また、日本では子どもの権利条約として休む権利、遊ぶ権利が与えられていることも学びました。しかし昨今では、遊ぶ場所が減ったり、公園では静かに遊ばなければいけなかったり、習い事がたくさんあったりと子ども達の遊ぶ機会は減っています。そのような状況でも、幼稚園や保育園では遊ぶ場所が確保されています。私はこの話を聞いて、預かり保育などの他の方法で子ども達に「遊ぶ」という学びを与えられる先生方はすごいと思いました。

〔生徒の感想〕1年 S.Hさん

私はこの授業を聞いて、子供たちが遊ぶことの大切さを知りました。遊ぶだけで人との関わり方やルールを理解したり、生きるための知恵を学んだりできるそうです。また、身体の発達やストレス発散につながるだけでなく、チャレンジ精神ややる気、考える力などを養えるということをこの授業で学びました。

私は遊ぶだけでこれらたくさんのことを学べる知り、遊びの力はとても凄いのだと感じたと同時に、小さい頃は家の中よりも外で遊びたくさんの子供たちと関わった方が良い学習になるのだと考えました。

近年では、時間・空間・仲間の減少を「三間の減少」と呼び、問題になっていることが分かりました。私はこのことを聞いて、子供たちがもっと自由に楽しく遊べるようになると良くなると思いました。